

令和 7 年度 英語指導法改善研究計画

宜野湾市立嘉数小学校

校長名 玉城 有

1 研究主題名

英語を「話すこと」「聞くこと」に自信を持つ児童の育成
～「やり取り」を重視した授業デザインを通して～

2 研究主題設定の理由

新学習指導要領では、外国語活動を通じて児童が「聞くこと」「話すこと」に慣れ、コミュニケーション能力の基礎を養うことが求められている。特に低学年からの活動では、英語を楽しみながら積極的に使う経験を重ね、自信を持つことが重要となる。低学年で培った資質・能力を基に高学年においては、生きた英語に触れ、言語習得のモチベーションを高めるとともに、異文化への興味を深める機会も重要である。本市においては、英語特区であることから、低学年における外国語活動の実施が可能であり、さらに、ALT の配置により、ALT と学級担任が連携した、児童がコミュニケーションイメージを持てる授業が実施できる。

そこで、本校では、ALT を効果的に活用しながら、「やりとり」を重視した授業デザイン・実施により、児童が段階的に言語運用能力を伸ばしながら、児童が英語を使うことに楽しさと自信を感じられる環境づくりを目指す。

3 学年・領域

1 学年～ 4 学年：外国語活動

5 学年・ 6 学年：英語

4 研究主任と組織

研究主任：玉城 佑 英語・国際理解担当：浅井 千苗

A L T：安里 綾乃、山村 エレナ ※部会で指導方針を確認、学年に伝達する。

5 年間研究計画

授業回数：1 学年～ 4 学年は週 1 回、5・6 学年は週 2 回

授業方法：単元を通して「やりとり」を意識したスモールステップ構成の授業を実施する。(簡単な対話活動、聞いて応答する活動、段階的な発話練習 (show&tell), ロールプレイ, ペアワーク, グループワーク等)

担任と A L T による T T 指導で学級担任が T 1、A L T が T 2 の役割を持ち、ミーティングを通して児童が意欲的を引き出す環境を創っていく。

みとり：交流・発表活動場面観察、ワークシート、アプリ等での作品。

児童アンケート、保護者アンケートに英語授業に関する項目を入れて実施。

校長所見

本研究指定を受けることにより、本市人材育成にかかわる理念や英語教育及び、国際理解教育に対する本校職員の理解を深め、更なる指導体制の確立と指導内容の工夫を図ることをめざす。